

ねこを愛し、まちを元気に

# ニャパリスト 18

柿原 麻衣子 さん | にゃにゃ倶楽部



かきはら・まいこ ●名張市で猫の保護活動をしている「にゃにゃ倶楽部」の広報担当。元動物看護師。長女（写真左）と共に、TNR（野良猫に避妊・去勢手術を行い地域に戻す）活動や里親会など、猫のために奮闘中。困っている人を助けたいと、まちづくり協議会の青年部や子ども食堂の手伝いなどにも積極的に関わっている。

この子はセブン！  
前足を失いながらも屋外で  
たくましく生きていました



保護した猫が新しい家族のもとで幸せに暮らす姿を見られることが活動のやりがい



捕獲器や写真を見せながら行う「命の授業」では、子どもたちが真剣に聞いてくれる



自宅で7匹の猫を預かり、TNRした猫の世話をしている

## 猫は動くぬいぐるみじゃない 人間と同じ大切な命なんです

「旅行に行くから安楽死して」と連れてこられたペット、エサを与えられず大量の石を食べていた犬……。動物病院で働いていた頃、人の身勝手な手で苦しむ動物をたくさん見てきて、動物も人と同じ大切な命なのになぜ命を粗末にするのか、と憤りを感じていました。

3年前、多頭飼育崩壊の現場に遭遇したことをきっかけに、個人で本格的な保護猫活動を始めました。現在は長女と共に、「にゃにゃ倶楽部」の広報担当として活動しています。特に力を入れているのが、令和5年から小学校や学童保育などで実施している「命の授業」。保護猫活動の説明を通じて、子どもたちに命の大切さを伝えていきます。

私たちがどれだけ猫を保護しても、人の意識が変わらなければ不幸な命はなくなりません。だから、まずは子どもたちに、命を大切にする気持ちを広めていきたいと思っています。私の活動を見て育った娘は、命の授業の助手や保護猫のお世話など、できることを自ら探して手伝ってくれています。子どもにもできることがあるんです。

ぜひ皆さんも、不幸な命を減らすためにできることはないか、考えてみてください。どんなに小さなことでも、みんなが少しずつ行動すれば、未来は変わるはず！猫は動くぬいぐるみではなく、人と同じく心を持つ命。小さな命も大切にできる人が増えてほしいと願っています。

### 編集後記

7年前、雨天につき市庁舎内での開催となったなばり獅子フェス。今年こそは、かがり火のもとで舞いたいと、みんな意気込んでいます！（たか）

過去に救急搬送され入院したことが。すぐに救急車が来てくれたのは、皆さんが適正に利用してくれていたから。ありがたいです（くま）

保護猫に関わる皆さんは、猫が大好きな人たちばかり。かく言う私も猫大好き人間なので、取材後は猫話で盛り上がりました（はる）

記事を書くにあたり、万博についてリサーチ。楽しそう！未だ行けていない私の重い腰がやっと上がりま。よいしょ（はな）

### 市役所などの受付時間を短縮



令和7年8月1日～  
9:00～16:30

対象施設 市役所、保健センター、まちの保健室、上下水道部庁舎（電話の受付時間は変更なし）ほか



詳細 市HP